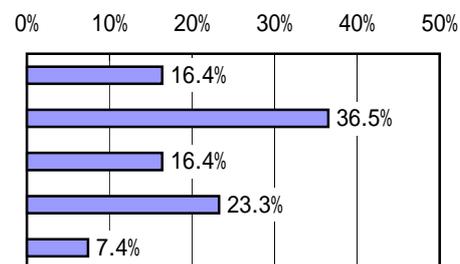


しっかりしてや！！流域委員会～新しい川づくりに向けた意見交換会～（2004.2.28）  
 あなたがつける流域委員会の通信簿！ 集計結果

評価		件数	構成比
A	高く評価する(優)	31	16.4%
B	一定の評価ができる(良)	69	36.5%
C	概ね適切である(可)	31	16.4%
D	課題、問題点が多い(不可)	44	23.3%
E	抜本の見直しが必要である！(落第)	14	7.4%
	無効(その他)	3	-
	有効回答者数	189	100.0%



通信欄記入意見(合計84件)

評価:A「高く評価する(優)」
国や自治体が行う事業は多数ありますが、河川の整備事業に対し、これほど時間をかけ、公開で事業の件を検討した委員会は無かったと思います。委員会が発表する提言や意見を尊重しない国土交通省の姿勢は疑問に感じます。
ごくろう様でした。しかし所詮は新々河川法のワク内での「一生懸命」であり、<流域住民>を主体、主権者に据えていく作業は、貴委員会のご努力をスタートにして今後の壮大な国民的事業につなげねばならないだろう。「河川管理」と「流水管理」とは同一には扱えない性格を持っているのではないか。今後のとりにくみにまつ。
ご努力されていることはよく承知していますが、流域委員会の活動がまだまだ知られていません。一層のご尽力を！！
大変熱心に取り組まれ、りっぱな成果を上げたと思います。この会の成果、過程は世界的にも類のないものではないだろうか。
ご苦労様です。
他の行政で多分聞いたことのない初の試みと思う。「公共工事モデル事業」として胸を張って下さい。 1.会の参加者がどの程度資料を読んでいるか(理解は別として)? 2.シンポジウム、パネラーに単に名前が知られているだけの人が参加すべきでない。また、一種の運動、パネラー経験などを種に講演会に参加し法外な収入を得ているとのこと(よく調査すべし) 3.報告書の文が、必要かもしれないがどく、行間に書き込むような(表現)ことをしない。文章を短く、Yes-Noを明確に表現して欲しい。 4.マスコミのとりあげ方に注文をつけること。つまみ食いの取上げ方が多い。記者はよく聞かず、報告書を全部読んでいないと思う。逆にお金はかかるが、委員会として新聞1頁or半頁の広告、広報をしては如何。 5.たいへんご苦労様でした。今後監視をよろしく。 6.住民の意見はあくまで意見。実現との間に行政の判断がある(アンパイヤorレフェリーが必要)。これをお忘れなく！
行政に迎合せず頑張ってください。
ダムの見直し提言を高く評価している。国交省や地元建設推進派の意見をぶつつぶせ！！
指導する方向にもって行くこと。 政党及び議員達何にも役に立っていない。 土建を利益配分社会から追放する必要がある。 歴史的背景を持っている堤防を役人達はめちゃくちゃにした。役人の手からうばうことが大事。
今後よろしく。
ごくろう様です。
今後共ガンバって下さい。
宿題を解決するため、もう一度燃え上がって下さい。

評価：B「一定の評価ができる(良)」

流域という概念が定着してきたことは評価できると思う。治水、利水から環境まで包含して考えることは大切であることに同感ですが、都市域から見た河川空間の果たしてきた役割、例えばスポーツの場としての機能など、今後の調整がさらに必要と思っています。

今後についても期待します。

1.行政間の調整がいろんな面で必要(国や県・市町村、特に国対地方自治体)  
2.絵にかいた餅にならないよう推進してほしい。多くの住民が応援している。

水とは何ぞや？これをもとに考えてほしい。

しっかりしてや！あんばようしてや！

流域内の降雪についての考えがもっと重要視されてよいのではないか。

21世紀のモデルになりそうですね！！

河川管理者として、何度も説明させて頂いたことが「はじめて聞いた」とよく言われました。ショックでした。

期待しているので頑張って下さい。

市民が参画して「河川のあり方」を議論し、一定の方向性を提言したことについては大いに評価できるが、今後、河川管理者がその提言を生かすどのような河川整備を行っていくのかを見守る制度が必要だと考える。

当初の委員会を傍聴し、又私自身も治水を専門とする仕事についていましたので、「水防とは・水防団とは」というテーマで約30分講演をさせてもらいました。そのとき「水防団」があるんですかと問われア然としましたが、その後委員の方もいろいろ勉強され、議事録を読んで少し理解度が深くなってきたなと思いました。もっと治水のことを知って下さい。実際に治水水防団の仕事をしたものでないかわからないかも。又、自分の家が浸水したものでないかわからないのかな。

淀川と猪名川、猪名川と余野川、そして余野川とダム！すべてがつながっており、切り離しは難しい。全てで満点が取れるのか？取れない所をどうカバーするのか、調整は誰がするのか。委員会しかないのでは！重要です。

新日本列島改造の心意気でしっかりがんばって下さい。

「地球生命系倫理」といったものをもっと全面に打ち出さないと住民の理解は得られない。

これからでしょう！

京都の市街地特性から考えると、都市の防災からの視点で河川の役割もあるのでは？水防だけでなく。

一般へのアピールをもっと！！シンプルに。

前回も出席させて頂きました。一刻も早く、三川合流以北の水深確保をお願いしたいと思います。

「淀川モデル」を出発点として更に高いレベルの流域委の全国的展開をのぞむ。

国から地方へ官から民への意味がよくわかってきた。

これからもどうぞ頑張ってください。よろしくお願い致します。

河川問題の議論の場のさきがけとなったと思う。

だれでも参加できるのは大変良い事と思います。

今後共、新委員会で頑張ってほしい。

いつも資料を頂き感謝しています。まだ課題は多いと思いますが、

もっとPRして下さい。いいたいことがありましたのに、1月下旬にありました会合のことはあとで新聞にて知りました。その時の委員会からのコメントに、「市民に関心が低い」とあり、悲しくなりました。もっと大きな「聞く耳」を持って下さい。今日のことは告知記事を新聞で見つけ、知りました。小さい小さい記事でした。

頑張ってください。

報告レポートがたくさんあって読みづらい。

評価：C「概ね適切である(可)」

先進的だが、安全上の議論は大丈夫か？

長期間すぎる

本年は甲申(きのえさる)即ち改革断行の年です。時代と住民が希望する水の浄化等の英断をするようにして下さい。机上空論的な時は終わった。防災の努力は高く評価して感謝しております。

不特定多数の広範囲の意見をまとめることに大変努力されていると思います。しかし、まとめることだけでなく一つ一つの問題点を詳細な視点でとらえ、解決・対策を早急にとってほしいと思います。

マスコミを活用すべき。

「住民意見の反映」について十分な討議がなされたとは思えない。

20～30年先を見てであっても、現在すでに病んでいる河川が多すぎる。よって時間がかかりすぎと労力と金をかけすぎである。来場者のメンバーが同じものばかりである。関心ある人は来るし意見もほぼ同じである。

新しいことに取り組んだ姿勢は評価できる。地元の声が十分聴けたのかという点は貴委員会が危惧されるように不十分といわざるを得ない。これまでの取り組みを整理され、情報・意見の収集、発信の新しい効果的なあり方が生み出されることを期待する。

評価：D「課題、問題点が多い(不可)」
委員の方でリスクのあるところに住んでいる人はどれくらいいるのか。専門の意見だけでなく、トータルでみた結果を。発言した内容に責任を取れるのか、疑問。？少し時間がかかりすぎている。
流域委員会の考えは環境に偏っていませんか。委員の構成から見てもそう感じます。そのような状態で適正な判断や意見の取りまとめ等ができますか。
課題、問題点を多くしている。早期ダム着工を願う。
提言は、被災者の意見を聞いて作成されたのですか？安全な土地に住んでいる人達だけで作成されたのなら、そのような提言は無責任な物と言わざるをえない。認めるわけにはいかない。本当の洪水を知っているのか？
先ず、流域委員会の今日までの熱心な討議と提言へのプロセスに関しては評価したい。しかしながら、「環境」を表に出しすぎた近視眼的な思考のあることは否めない。真の環境は「水」を20～30年でなく、永久に保持することである。委員の中には「水」の真価を知らない人が多い。「ダムを建設しない」それを「河川」にしわ寄せするのではなく、確固たる代替案を提示すべきであった。
時間かかりすぎ。費用対効果が、委員会と、ダムとも？過去の - - - が - になったかなあという感じ。決して未来を見ずえた + (前向き)の話ではない。
抽象論のみで具体論が乏しい。
一般意見の聴取が不足しているのでは？
全国モデルには不十分。
私は初参加ですが、前回参加した者からの報告で、当会の活動にあまりプラスにならないだろうということでした。
整備計画には生かされない可能性が高い。肝心要の点をつかんで指摘していないから。「流域能力の増大(その中で河積増大)」を要するという提言には反対。
まとまらない！
全般的に評価しながらも、治山、地質問題、永続的防災歴史教育などの部分が取り組まれていないことでDである。農業の化学物質、都市計画への踏み込みも抜けている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象学が入っていない。</li> <li>・治水・利水が軽視されている。</li> <li>・血税を10億以上もかけてよいのか。1億円を使えば充分である。</li> <li>・10億円もあれば、素晴らしい環境活動ができる。</li> <li>・委員の報酬額を公開せよ。</li> </ul>
多様な意見が出るなかで、分野別に問題点を絞り込み、回答できるものは回答を、できないものはその理由を明らかにしてもらいたい。絞り込みができていない。
委員が、対象地域に入り、住民と共に議論をすべきではないか。
河川法でできること。何でも好き勝手に意見するのはおかしい。
ダムを中止と言うけれど、買収が終わっている所はどうするの？
本日初参加。事前の情報で記入。
しかし一定評価できる。けっして不可ではない。
委員のバランスは適切か。
住民の意見が十分に反映されていない。
意見としては評価できる所もあるが、本当に実現できるとは思えず、真の住民の意見とは言いがたい。
理論のみで、具体的な計画や委員会としての現地での活動がなく、特定の住民との対話のみでサイレントマジョリティとの対話がなかった。提言でも、委員会としての責任が明確となっていない!!!
現地地元住民の意見を重要視すること。

評価: E「抜本的見直しが必要である！(落第)」

地域住民の方々との「真なる対話」がなされることなく、提言・意見が出されている。「真なる対話」とは現場・地元からの長い深い経験叡智という情報の共有を行うことであり、琵琶湖・淀川という共同体としての帰属意識を持つことからの新たな展開を行うことと考えます。上記の観点からこの2～3年の流域委員会の活動にはEという評価をせざるを得ません。

河川の多様な価値・可能性が十分とらえられていない。自然にかたよっている。

住民合意のものではない。住民意見が無視されている。

流域委員会自らが「しっかりしてや!!」と言っていることから明らかであるように、「ダメ(落第)」である。具体的には 学識者の意見を聞く 関係住民の意見反映方法についての意見を聞く、という目的をチャンボンにして、あたかも流域委員会が淀川、ひいては日本の河川整備を検討するかのような形になってしまったことである。学識者はキゼンとした態度で、科学的かつ現実的な整備計画を出し、自ら住民代表と思っている委員(何んら、住民を代表していない)は、よく勉強し、個人の意見でなくふつうの立場になった意見が必要であった。よって河川整備計画に口を出すより、住民の意見を集める方法に口を出すべきである。

委員選任方法に問題がある。

地元の実体を知るべきである。委員の入替をせよ。

解散をお願いします。10億円のムダ使い。

地元住民の意見が反映されていない。特に地元の住民の声をもっと聞くべきである。第3回の対話討論会は住民同志、流域委員会と住民というものを取り組んだらどうか？

無効(その他)

(AとEに )上と下との認識がずれている

(DとEに )地域の実態や住民の意見の聴き取りが少ない